

招待講演Ⅳ

官民連携による基準・認証国際調和活動の推進

自動車基準認証国際化研究センター 研究部長

上野 潮

官民連携による基準・認証 国際調和活動の推進

上野 潮

自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)研究部長



目 次

1. JASIC活動の紹介
2. 国際基準調和の動向
3. 国際的な車両型式認証制度 IWVTA
(International whole vehicle type approval)
4. 行動計画実施のためのJASIC体制強化

1. JASIC活動の紹介

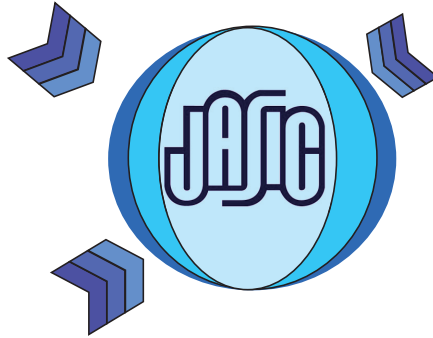
JASIC事業目的

国連を中心とした自動車の基準・認証
制度の国際化活動を官民が協力して
推進し、国を支援すること

JASICの構成団体

国土交通省、自動車関係団体等の参加により事業を推進しています。

国土交通省



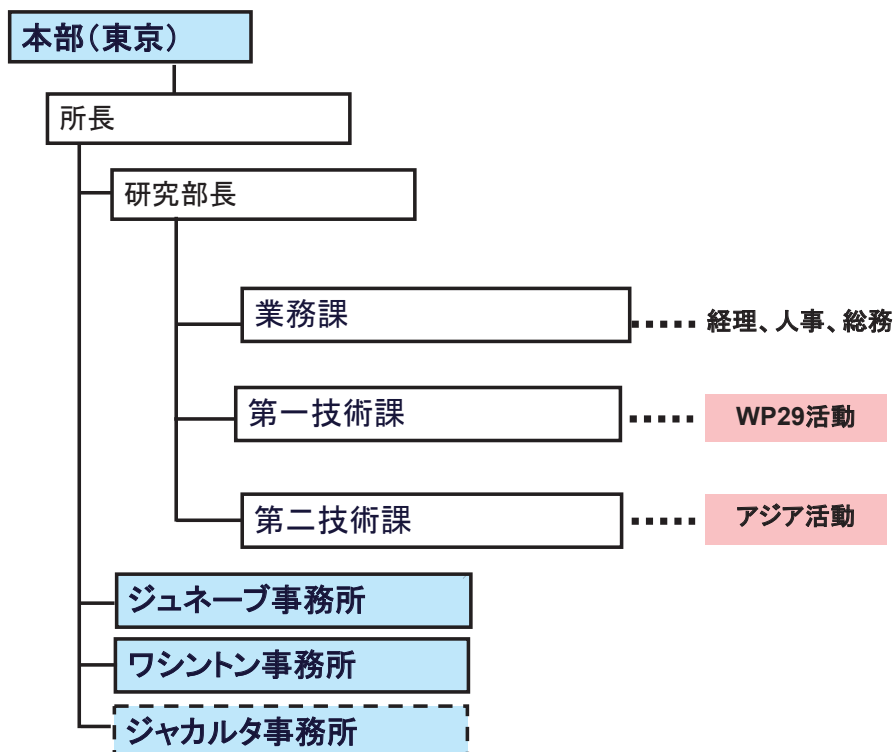
関係省庁、協力団体

- 経済産業省
- 環境省
- 独立行政法人交通安全環境研究所
- 公益社団法人日本自動車技術会
- 財団法人日本自動車研究所

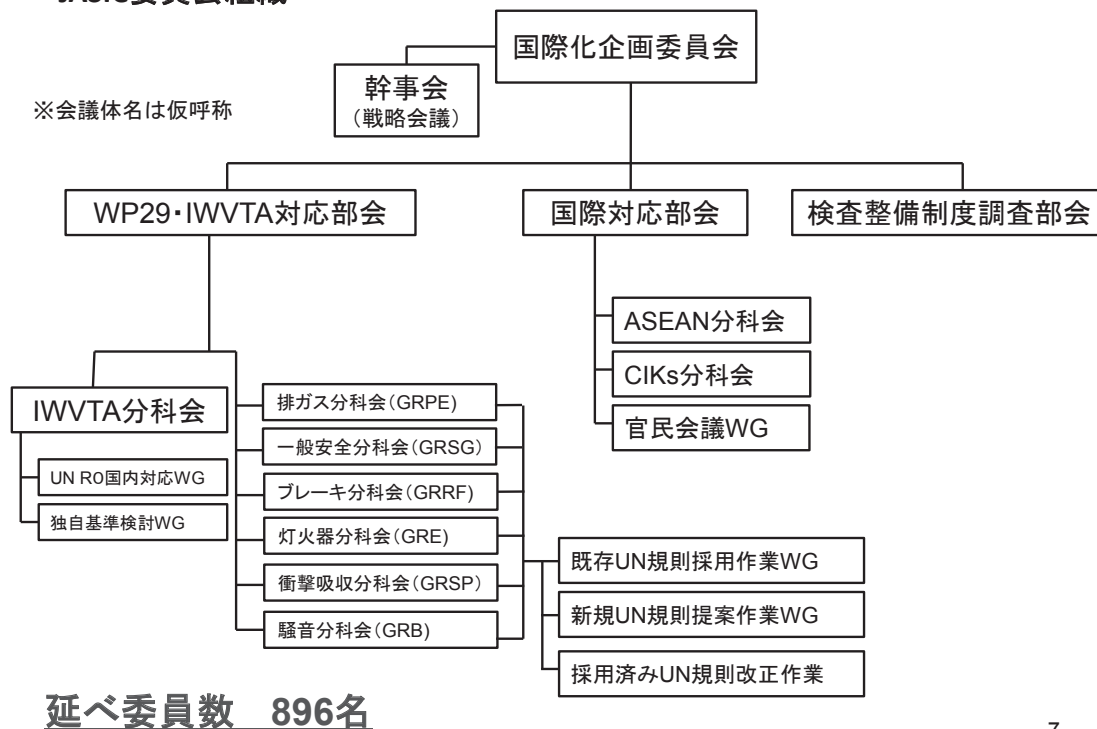
参加団体

- 軽自動車検査協会
- 一般社団法人日本自動車工業会
- 一般社団法人日本自動車部品工業会
- 日本自動車輸入組合
- 社団法人日本自動車機械工具協会
- 財団法人自動車検査登録情報協会
- 一般社団法人日本自動車車体工業会
- 一般社団法人日本自動車タイヤ協会
- 板硝子協会
- 社団法人日本陸用内燃機関協会

JASIC の事務局組織

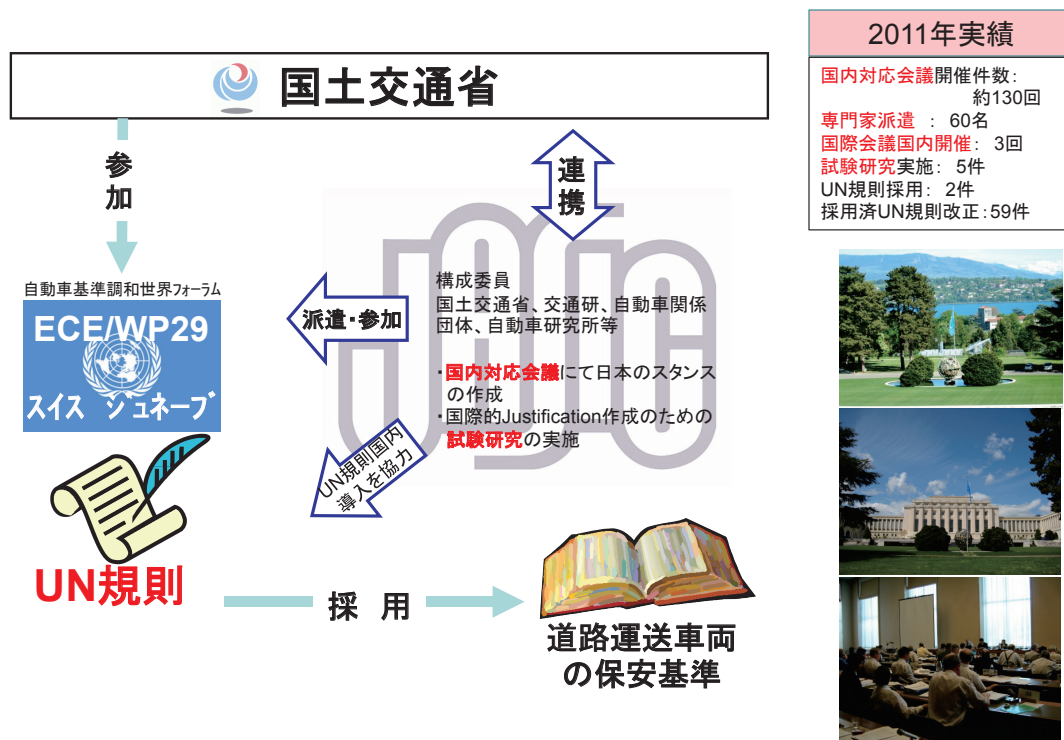


JASIC委員会組織



7

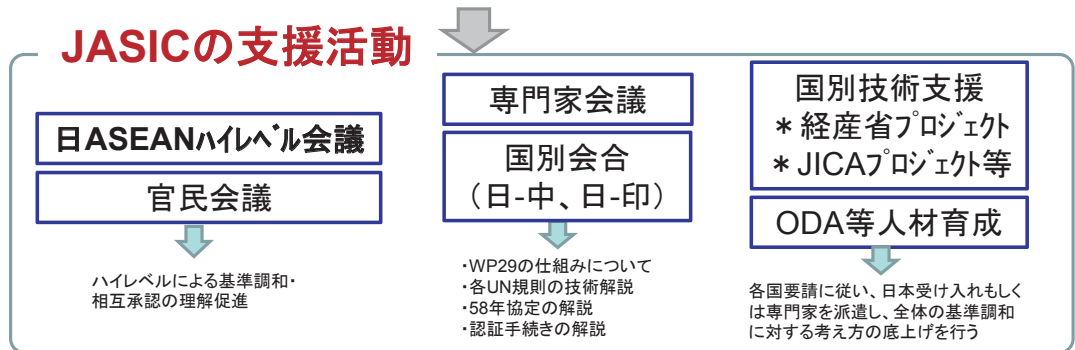
国際基準の制定と国内導入サポート



アジア諸国との連携サポート

WP29の情報を通じ、アジア官民のUN規則の技術的要件の理解を得、WP29への参加および58年協定加盟と相互承認を促す。

JASICの支援活動



各支援を通し、アジア地域に対する期待するところ

- ・アジア地域のWP29参画により、UN規則を真の国際基準に
- ・アジア地域で適切な国際基準の運用が可能
- ・車両の国際的相互承認(IWVTA)の確立
- ・WP29対応アジア版の確立



2. 国際基準調和の動向

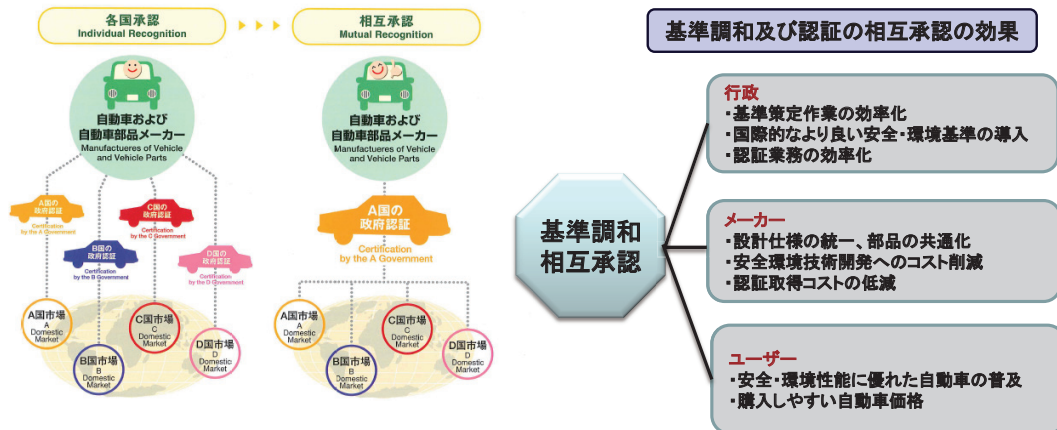
国際基準調和と相互承認

国際基準調和

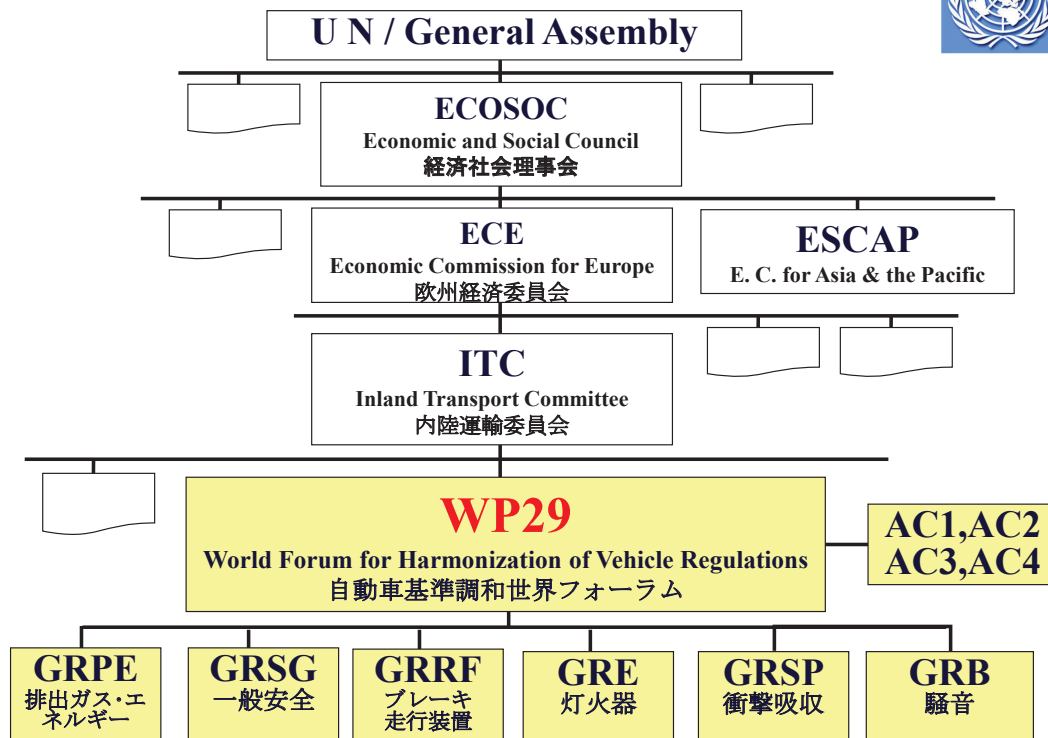
各国の異なる自動車の安全・環境基準を国際的に調和することを目指す

相互承認

各国ごとの基準に合わせ各国其々に認証を行っていることを統一した基準を使用することで互いの認証を受け入れる



UN/ECE/WP29組織図



WP29 出席国

• 欧州各国 • アメリカ、カナダ、ブラジル、アルゼンチン • 日本、韓国、中国、インド、マレーシア、インドネシア、タイ、パキスタン、フィリピン、ベトナム • 南アフリカ、チュニジア • オーストラリア、ニュージーランド	非政府組織 • 自動車業界団体 (OICA, CLEPA, IMMA, etc.) • 規格作成団体 (ISO, IEC, SAE, etc.) • 消費、環境保護団体 (CI, CONCAVE, etc.) • 使用過程車に関する団体 (FIA, CITA, etc.)
地域的な経済統合機関 • 欧州連合	

WP29/AC2 (Steering Committee)

WP29の運営について検討する組織

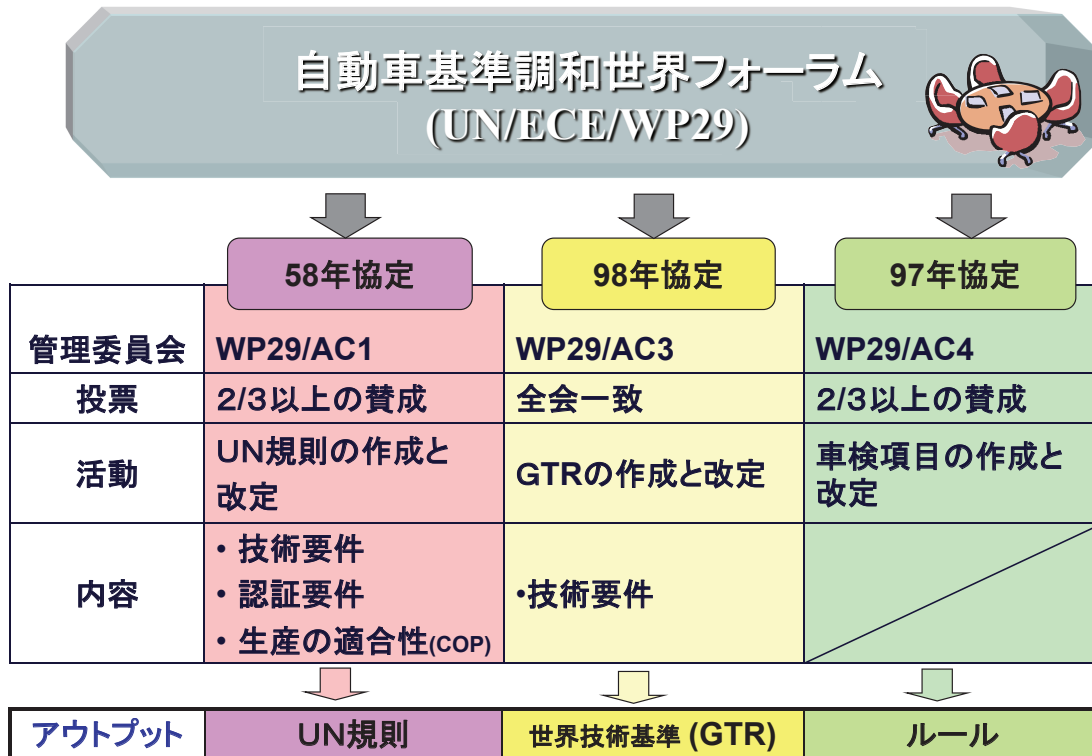
出席者： WP29議長、副議長、各GR議長、各GR副議長、日本、EU、米国、国連事務局

58年協定、98年協定加盟国

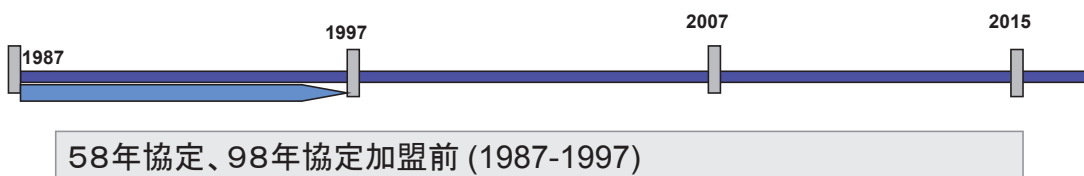
58年協定 (50) Germany, France, Italy, Netherlands, Sweden, Belgium, Hungary, Czech Republic, Spain, Serbia, United Kingdom, Austria, Luxembourg, Switzerland, Norway, Finland, Denmark, Romania, Poland, Portugal, Russian Federation, Greece, Ireland, Slovenia, Slovakia, Belarus, Estonia, Bosnia and Herzegovina, Latvia, Bulgaria, Lithuania, Turkey, Azerbaijan, The former Yugoslav Republic of Macedonia, European Union, Japan, Australia, Ukraine, South Africa, New Zealand, Cyprus, Malta, Republic of Korea, Malaysia, Thailand, Montenegro, Tunisia, <u>Kazakhstan, Albania</u>	98年協定 (32) USA, Canada, Japan, France, United Kingdom, EU, Germany, Russian Federation, China, Korea, Italy, South Africa, Finland, Hungary, Turkey, Slovakia, New Zealand, Netherlands, Spain, Azerbaijan, Romania, Sweden, Norway, Cyprus, Malaysia, Tunisia, Australia, India, Lithuania, Luxembourg, Moldova, <u>Kazakhstan</u>
--	---

2011年加盟

各協定の概要



WP29への日本の貢献



1) JASIC は下記の分野でWP29活動に貢献

乗用車ブレーキにおける日米欧の調和 UN R13Hの成立

灯火器取り付けの日米欧の調和 UN R48

2) 58年協定改定議論へ参加

会議の透明性の確保、議決方式の改善を主張

1995年に改定58年協定発行

E/ECE/TRANS/505/Rev.2

国連加盟国全体へ参加拡大となる

WP29への日本の貢献



● 加盟後の影響

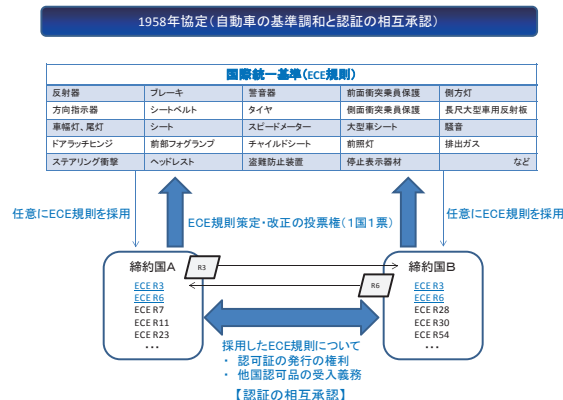
- ◆ UN規則の採用 2011年現在 **42項目採用**
- ◆ GTR作成への貢献
2011年現在 12のGTRとSR1の成立
- ◆ ITSインフォーマル会議の共同議長
- ◆ アジア各国へのWP29参加及び58年協定加盟の啓蒙活動
- ◆ 2009年11月 国連下における車両の相互承認について提案

58年協定の概要

国連欧州委員会 (ECE) の多国間協定

協定の概要

1. 統一基準 (UN 規則) の制定
58年協定AnnexであるUN規則の制定・改定手順及び手続き等を規定
2. 認証の相互承認
相互承認の条件及び方法等、生産の適合性に関する手続きを規定
3. その他の規定
締約国となる条件、58年協定改正に関する規定等

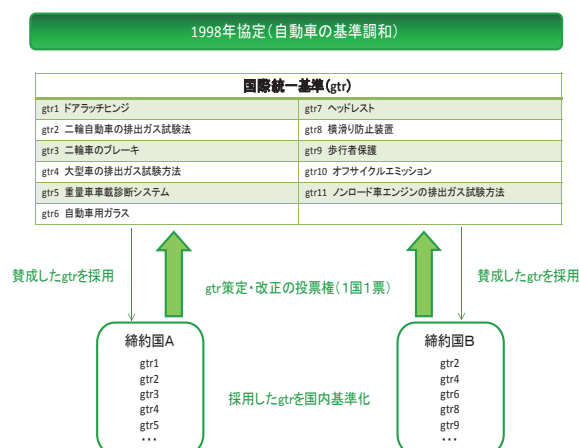


1998協定の概要

認証の相互承認に関する規定を含まず、基準調和を進めるための協定

協定の概要

1. 国際統一基準 (UN GTR) の制定・改定手順の規定
2. 新技術に関する統一基準の制定



UN規則リスト

現在: 1~126のUN規則

新法規: LEDと歩行者保護

- R 1&2 Headlamps
- R 3 Reflex Reflectors
- R 4 Rear Registration Plate Lamps
- R 5 Seald Beam Headlamps
- R 6 Direction Indicators
- ⋮
- R 120 Measurement of net power *agricultural or forestry tractors
- R 121 Hand controls, tell-tales and indications
- R 122 Heating system
- R 123 AFS
- R 124 Wheels for Passenger cars
- R 125 The forward field of vision
- R 126 Partitioning system

New LED light sources

New Pedestrian Protection

156回WP29: (2012年3月13-16日)

議長 : Mr. B. Kisulenko (Russian federation)

副議長: Mr. B. Gauvin (France)

参加者

政府 :

Australia; Belarus; Belgium; Bosnia and Herzegovina; Canada; **China**; Czech Republic; Estonia; Finland; France; Germany; Hungary; **India**; Italy, **Japan**; Latvia; Luxembourg; Netherlands; Norway; Poland; Portugal; **Korea**; Romania; Russian Federation; Serbia; Slovakia; Slovenia; South Africa; Spain; Switzerland; **Thailand**; Ukraine; UK; US; EU

非政府団体:

ISO, AIT/FIA, OICA, IMMA, CLEPA, ETRTO, CITA etc.

156回WP29: 最近のGR会議の報告

GRSP(第55回衝撃吸収, 2011年12月6日-9日)

- ◆ 歩行者保護GTRフェーズ2のTORを合意。
- ◆ ポール側突GTRのTORの変更を合意。
- ◆ 燃料電池自動車GTRの最終ドラフトのWP29提案が半年延びることを合意。
- ◆ チャイルドシート新法規を検討中。また、偽物認可証の対策検討。

GRPE(第63回排出ガス, 2012年1月17日-20日)

- ◆ 排ガス試験調和活動(WLTP)について報告。進捗は良好。
- ◆ 後付け排ガスコントロールシステムのインフォーマルグループの2年延長を合意。

GRB(第55回騒音, 2012年2月7日-9日)

- ◆ 静かな車の静音性(QRTV)GTRの作成提案を合意。
- ◆ R51(四輪車騒音)はEUで行っていた2年のモニタリング終了報告。
- ◆ R51の規制値を日本とドイツが提案。

GRRF(第71回ブレーキ走行装置, 2012年2月20日-24日)

- ◆ 緊急自動ブレーキは今後は8トン以下の車両に対する適用を議論。
- ◆ 機械式連結装置のインフォーマル会議をドイツ議長で行うことを提案。
- ◆ タイヤGTRについては、2013年3月にWP29に提案方向。

156回WP29: 他の議論内容

Intelligent Transport System (ITS)

- ◆ 第20回ITSインフォーマル会議を開催。制御プリンシプルについて議論することを合意。

IWVTA

- ◆ IWVTAに必要な技術要件及び専門分科会（GR）での検討ガイドラインが了承。
- ◆ GRで検討する際にIWVTAからアンバサダーを各GRに派遣することも了承。

UN規則の引用

- ◆ UN規則をUN規則内に引用する方法を議論。
- ◆ プライベート規格の扱いについては継続審議。

新UN規則の成立

- ◆ LED光源
- ◆ 歩行者保護

その他

- ◆ 車両推進システムに関する定義や区分について、INF-G新設を承認。
- ◆ OICAよりリサイクルに関するUN規則作成の提案が6月WP29に提案予定。

23

156回WP29: 98年協定関連項目

AC.3議長 :Mr. Onoda from JAPAN

採択されたGTR

- ◆ 米国の中・大型のGHG排ガス、及び新燃費ラベルの、GTR候補項目導入を承認。
- ◆ 燃料性状をSR1に入れることを合意。

GTRの新法規、及び改訂の検討

- ◆ 水素燃料電池車に関するGTR(HFCV-SGS)について、6ヶ月の期間延長を承認。
- ◆ タイヤGTRは最終化に向けて、6月インフォーマル会議を実施。
- ◆ 電気自動車等に関するGTR作成のためのインフォーマルグループが設立。
- ◆ 静かな車両の静音性(QRTV)に関するGTR作成が了承。

WP29で新たに議論されるGTR

静かな自動車の静音性に関するGTR

 2011年3月WP29において、QRTVをUN規則ガイドライン(RE3)に導入
⇒ 日本のガイドラインをベースに作成された。

 2012年3月WP29において、QRTV GTR作成作業を合意。

テクニカルスポンサー： 日本、米国、EU

議長：米国

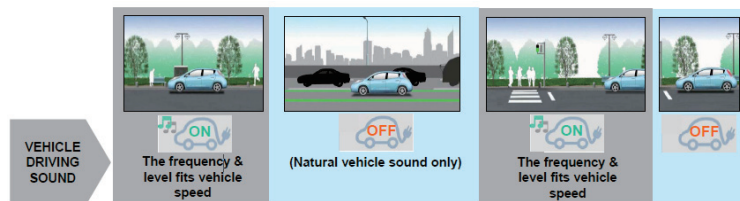
副議長：日本

セクレタリー：EU



 今後のスケジュール

- 2012年中に3回のインフォーマル会議を予定。
- 1stステージはEV/HVについて議論。2ndステージは他の静かな車両に拡大。
- TORは6月WP29で議論。



EV GTR

進捗スケジュール

2011年11月：

- 日本、米国、EUが共同で電気自動車に関するGTR制定の提案を行った。
- 検討を行うため、2つのインフォーマルグループを設立することが合意。

2012年3月：

- EV GTRの制定について正式合意。

2012年春：

- 各インフォーマルグループにてTORを決定。
- 2012年4月 EVS会議開催(@ワシントン)
- 2012年6月 EVE会議開催(@ジュネーブ)

2014 年

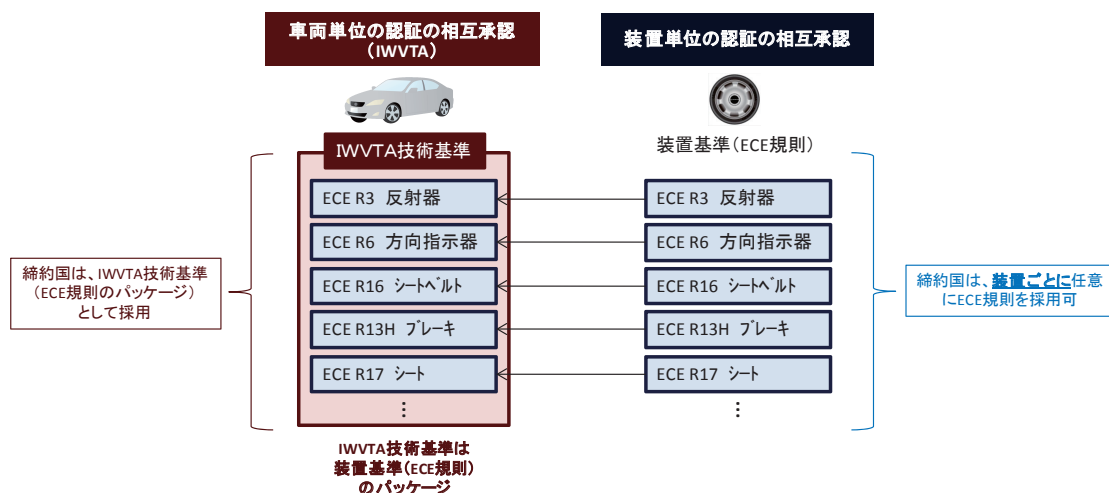
- GTR提案



3. 国際的な車両型式認証制度 (International whole vehicle type approval)

IWVTA提案の趣旨

- 国際的な車両型式認証制度 (IWVTA: International Whole Vehicle Type Approval) の創設及び当該認証による相互承認の実施による、**装置レベルから車両全体の認証の相互承認**への発展の実現を将来的に目指す。
- これを前提として、国際的な車両型式認証制度の構築に必要な基本的な要素についての共通基盤を策定する。



IWVTAの今後の展開

2011年11月 155th WP29

IWVTAインフォーマル会議の報告を合意

合意内容

・IWVTAに関連して58年協定を見直し

新58年協定のコンセプト

Text of the 1958 Agreement (amended)	
Appendices	
Appendix 1	Composition and Rules of Procedure of the Administrative Committee (amended)
Appendix 2	Conformity of Production Procedure (amended)
Placeholder	Procedure for Type Approval ([R.E. 3] Annex 7 (amended)) Relevant elements of WP29/1044 or later revision Relevant elements of WP29/1059 or later revision
ANNEX (Regulations) - Addendum to 1958 Agreement	
No. 0 IWVTA : Vehicle approval requirements (New UN Regulation)	
No. 1	
⋮	
No. 126	

・IWVTAに必要な技術要件の検討

2012年3月WP29にて合意予定

・ロードマップの合意

2013年3月 WP29に改正58年協定の提案

2013年6月 WP29にUN規則0 (IWVTAコンセプト) の提案

2016年3月 IWVTAの承認

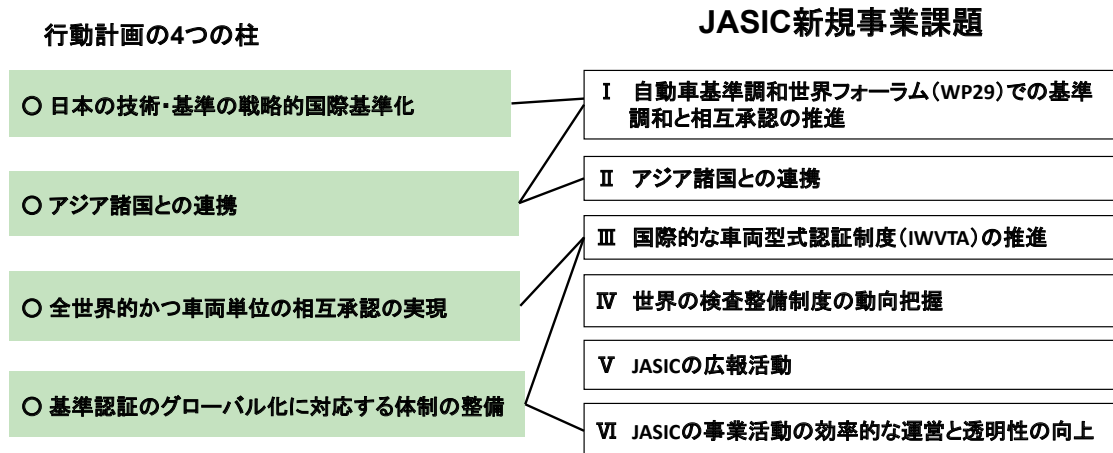
4. 行動計画実施のためのJASIC体制強化

行動計画に沿ってJASICの事業課題、事業内容を見直し

自動車基準認証国際化ハイレベル会議にてまとめられた自動車基準認証国際化行動計画の具現化のために官民協力により国際基準調和と相互承認を促進するための活動方針を示す。

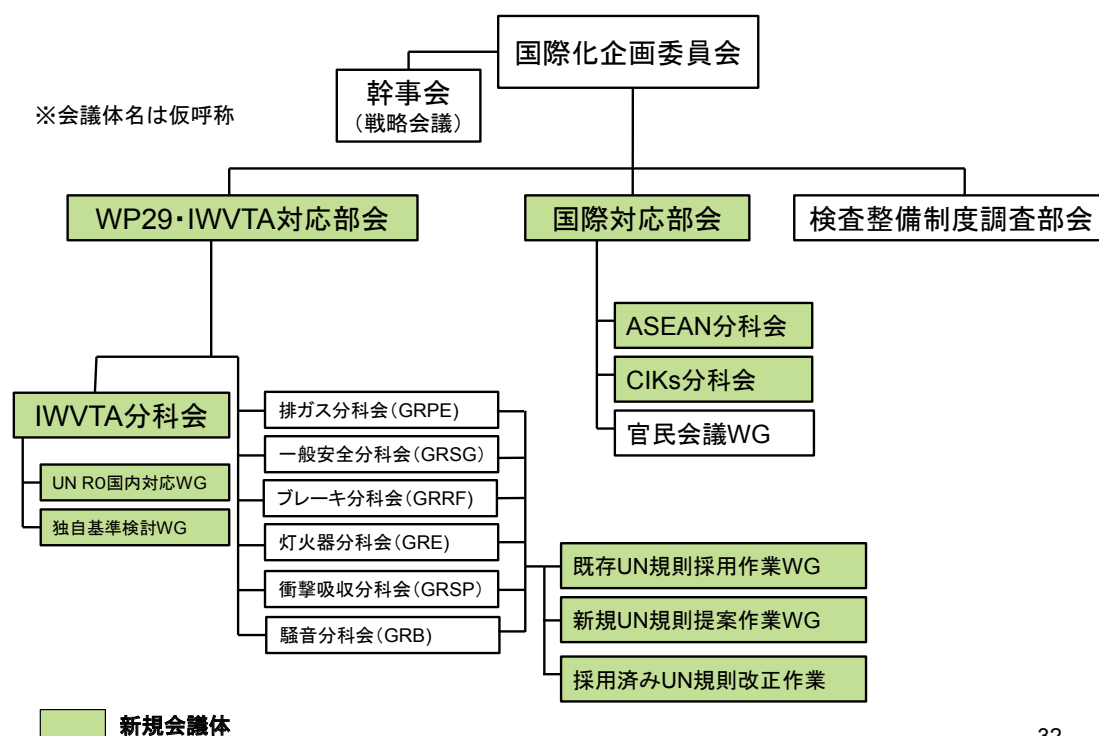
2011年 行動計画に沿って事業課題を見直しを検討し、IWVTA、アジア諸国との連携を具体的に進める新事業課題を決定。

行動計画とJASIC新規事業課題の関連



31

行動計画実行のためJASIC委員会組織を強化



32